

1、飯隈遺跡群に存在する地下式横穴墓群

今回、『飯隈遺跡群発掘調査速報』と題して、昨年度発掘調査を実施した地下式横穴墓を取り上げ、さまざまな情報をお伝えしてきましたが、いかがだったでしょうか。内容が難しくわかりにくいと思われた方もいらっしゃるかもしれません。そこで、特に知ってもらいたい重要な事柄を以下の3つにまとめました。

1. 玄室（げんしつ）の壁や天井に砂を塗っているお墓があること。
2. 大隅半島で初めてオオツタノハという貝を用いた貝釦（かいくしろ＝貝の腕輪）が発見されたこと。
3. 大隅半島で2例目の女性の副葬品に鉄刀などの武器類が埋葬されていたこと。

この3つの成果は他に例がほとんどなく、それだけ飯隈遺跡群に存在する地下式横穴墓群が特徴のあるお墓であることがわかります。また、お墓というのは、その当時の人々の生活の営みや精神が色濃く反映されやすい遺構でもあるため、ちょっとした発見でも重要な意味をもつ可能性があります。

1の砂を塗るという行為は、お墓を作る人たちがその墓に眠る人への思いが伝わってきます。2のオオツタノハを用いた貝釦を装飾品として身につけて亡くなった人は、生前、南西諸島の人々と交易をしていたことが伺えます。3は当時の生活の様子がみられ、女性といえど武器をもって戦いの場に赴いたのかもしれません。以上のように、ちょっとした情報でもいろいろなことを推測することができ、飯隈遺跡群に眠る人々がどのような人たちだったのか想像を掻き立てられます。

表1 調査成果一覧

調査	No.	玄室構造	玄室内		性別
			副葬品	人骨	
県営事業	1	・妻入り ・扁平型	刀子1点	有り	女性
県営事業	20	・妻入り ・扁平型	刀子1点 貝釦2点	無し ※ただし全身が粉状で確認。	
不時発見	21	・平入り ・ドーム型		有り	女性 2体
不時発見	22	・平入り ・家型	鉄剣1点	有り	男性
県営事業	23	・妻入り ・家型	鉄刀1点 鉄剣1点 圭頭鎌1点 刀子1点	有り	女性

2、考古学とは？

今まで私が推測したことはほんの一部の考えでしかありません。他にもいろんな考えや答えがあるのが考古学の世界です。考古学という学問は垣根が低い学問だともいわれています。ぜひこのシリーズを読まれた方は、飯隈遺跡群に存在する地下式横穴墓はどんなお墓でどのような人々が生活していたのか想像してみてください。

人骨については、現在、鹿児島女子短期大学において鑑定および復元作業を行っていただいています。これらの作業が完了次第、大崎町に里帰りいたします。里帰りした際には中央公民館1階郷土資料展示室にて公開する予定ですので、その際にはご見学にいらしてください。他これらの記事について質問などがあれば大崎町教育委員会社会教育課文化公民館係までお問い合わせください。

大崎町教育委員会 大野泰輔



1号 完掘状況（西から）



21号 完掘状況（西から）



22号 完掘状況（南から）